

## ■児童・生徒が使用するタブレット端末の試験的持ち帰りについて

大崎町教育委員会では、タブレット端末の試験的な持ち帰りを、10月から部分的に開始しております。特に、11月2日(火)から11月4日(木)は一斉に持ち帰り、通信確認を行う予定です。実施の内容については、各学校から各家庭へ連絡いたします。

つきましては、今後、正式にタブレットの持ち帰り学習を開始した際の注意事項をお知らせします。

### 注意事項

1. なるべく保護者の目の届くところで使用させます。
2. タブレットは学習以外では使用させません。
3. タブレットは飲食しながら使用させません。
4. 使用する時間は親子でよく話し合い、長時間使用させず、休憩をとるようにします。
5. 就寝する30分前は使用させません。(21時オフ)
6. 次の日、学校へ持っていくために自宅で十分に充電をしてください。



詳細については、各学校にお問い合わせください。

## まぶの窓おん庭 「少し大人になった僕らが気づいたこと」

No.67 鹿児島工業高等専門学校 村上 大心  
(令和2年度 大崎中学校卒業生)

僕は、今年4月から親元を離れ寮生活を送っています。高校に入学し、半年が経とうとする中で沢山の“ありがとう”に気づきました。

僕が3年間過ごした大崎中学校は、校則が厳しい…と言われており色々な面で徹底され、日々の生活に少し緊張感がありました。勉強、部活と毎日一生懸命励む中で、時には厳しく叱られ落ち込む日もありました。その度に両親から、「大心が経験する事はいつか必ず自分のためになるから！！」と言いつけられ、その頃の僕には深い意味も分からないまま、ただがむしゃらに毎日を送っていました。

高校に入学し、新しい学校生活を送る中で、中学生の僕達には感じる事の出来なかった“厳しい校則の意味”を知る事になりました。身なりの徹底・授業態度・話を聞く姿勢・提出物の徹底・礼儀・機敏な行動等…自分の体が自然と反応し、自然と対応できるのです。それぞれ違う高校へ入学した友達も、“あたり前の事をあたり前にできる”自分に驚き、「大崎中の生徒でよかったあ！」と口ぐちに話をしていきます。難しい時期の僕達に、いつも真剣に向き合い、僕らの先を見据え愛情をもって全力で関わって下さった先生方・保護者の方々のおかげだと、感謝の気持ちでいっぱいです。

僕は、大崎という自然豊かな地が好きです。帰省し、大きく深呼吸すると心が落ち着きます。また、散歩をしていると、今までお世話になった地域の方々とすれ違い、僕に笑顔で手を振ってくださる姿が嬉しく、みなさんの温かさに触れ「また寮に帰っても頑張ろう！」と元気をもらえます。僕も将来、何らかの形で地元に貢献できるよう、夢に向かって頑張ります。

